

于濤後卷
丁巳年

時

丁酉十六

津野縣一郎

拜辭

主はほほ子をもせ

がむら

ほ此處は萬取古

佐多監浦也先程

立候付少司も

き見ヲモ何より上別城

中 永田市助役及

改め承りまち

手はとこをアリて書

二 覧上ひもあす

吉宗

古事記

宗東京府、對レテハ別

我軍、牛星類をうち改
直ひて是ふ貴賤、
助川度ヲシテヤヒル
事

十月十九 滋野縣

子爵付祐彦、吉平閣下
付ゆ

追明、朝年來鶴井や上、
キ心経、有る所、東水力
宅、主翁社起工式、年、
為地才、出水うはん付、
六日、おと年、上、さすがの、
た仰